



## 語学文学会報告

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-12-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/10722">https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/10722</a>

## 語学文学会報告（令和二年九月）

### ○令和元年度語学文学会学術研究発表会

令和元年十月十日（木）午後二時から函館校主催で北海道教育大学函館校大会議室において第四十二回学術研究発表会を行った。題目は以下の通り。

講演

- ・国語史の資料をめぐるつて 釧路校 石井 行雄
- ・「相対的な、余りに相対的な」―芥川龍之介試解― 札幌校 西原 千博

学術研究発表会後引き続き午後四時二十分から語学文学会総会を開いた。

総会終了後、午後六時から、会場を移し懇親会を催した。

## 分校研究短信

### ○札幌校関連

#### 1 『札幌国語研究』第二十五号（令和二年十二月発行予定）

#### 2 大学院修士論文構想発表会

日時 令和二年二月六日（木）

場所 北海道教育大学札幌校 国語・国文第一演習室

### 研究発表

・日本語とベトナム語における畳語の対照

大学院（札幌校・岩見沢校）一年 ファンチャーニヤット

・「諭え」の力を育てる学習指導の検討

大学院（札幌校・岩見沢校）一年 篠原隆之介

### ○北海道教育大学函館国語会

#### 1 令和元年度研究発表大会の開催

日時 令和元年十一月三日（日）

場所 北海道教育大学函館校

シンポジウム「教師の学び・学び直し」十四時三十分～十六時

北海道教育大学附属函館小学校 真田 武知

北海道教育大学附属函館中学校 森谷 剛

北海道教育大学教職大学院 中村 吉秀

（司会）北海道教育大学函館校 内藤 一志

### ○総会 十六時～

会計報告

#### 2 会報六十五号の発行

#### 3 会誌『函館国語』三十四号の発行

○北海道教育大学旭川校国語国文学会

【大 会】

第三十五回研究発表大会を次のように開催した。

日時 令和元年十一月十六日（土）

午後一時～午後四時十五分

会場 北海道教育大学旭川校 L三〇一号教室

講演

・「大学」三綱領八条目について

常磐大学 松崎 哲之

研究発表

・古典の作り手との対話を目指した古典教育 現在と過去の

価値観の対話を手段として

大学院（旭川校）二年 小玉 光明

・読みの視点を欲張る！ 「走れメロス」実践報告

旭川市立明星中学校 田中 里彩

・〔知識及び技能（情報の扱い方に関する事項）を文学的な

文章の読みに生かす授業づくり

北海道教育大学附属旭川小学校 上野 健太

この後、総会と懇親会が開催された。

【月例会】

旭川校では、原則として一か月に一度ほど、旭川校国語国文学会の月例会を旭川校の国語演習室（S一〇五教室）にて開催している。令和元年九月まで通算二百五回開催。なお、開催日

時や場所、発表題目等は、旭川校ホームページ内「専攻からのお知らせ」(URL: <http://www.hokkyodai.ac.jp/info/asahm/>)を参照されたい。

○釧路国語教育学会

令和元年十二月 第一〇〇回記念例会

日時 十二月七日（土） 十四時

会場 北海道教育大学釧路校

・自律的に「言葉の力」を育む国語科授業の創造―学びの「つながり」を生む授業デザインを通して

小中における古典教育の接続性について

北海道教育大学附属釧路小学校 程野 純貴

釧路市立北中学校校長 松岡 伸之

・「大蛇・小蛇」の教材研究に関する考察―「陰陽師晴明、早

瓜に毒気あるを占ふ事」

札幌校 菅原 利晃

・同一用言反復形式「X＋に＋X」について

釧路校 佐野比呂己

・ルビとテキスト

釧路校 石井 行雄

令和二年二月札幌例会

日時 二月一日（土） 十時

会場 北海道教育大学札幌駅前サテライト

■研究発表

- （総合同会）釧路校 佐野比呂己  
（指定討論者）札幌校 菅原 利晃  
「読む」「学ぶ」「考える」——小説教材を使ったコンテクスト  
分析の思考

- 北海道札幌国際情報高等学校 高橋 一嘉  
模擬授業「両頭の蛇」での読解を行って——故事成語・逸話を  
通して「文学を文学として」《読む》漢文の授業

- 北海学園大学 荒木美智雄  
・美との出会いによって生み出される内的現象の言語化への試  
み——教科融合による「振り返り」の分析

- 大分大学 花坂 歩・藤井 康子  
・謎解き「山月記」講義

- 北海道帯広柏葉高等学校 田口 耕平  
・PISA調査結果とGIGAスクール——授業に関する新動  
向 文部科学省主任教科書調査官 小原 俊  
■シンポジウム／文学研究×国語教育 芥川龍之介「蜘蛛の糸」  
の教材分析を中心に  
（コーディネーター）札幌校 幸坂健太郎

- 札幌校 西原 千博  
・『蜘蛛の糸』——「御釈迦様」への不信感を中心に
- 札幌国際大学 高橋 伸  
・「蜘蛛の糸」のことなど
- 教材としての『蜘蛛の糸』の可能性

札幌市立羊丘中学校 小熊 剛彰

令和二年八月特別例会

日時 八月二十二日（土）十四時  
会場 北海道教育大学釧路校

- 芥川龍之介「杜子春」分析・考察

釧路校三年 山田 七海

- ICT教育ツールを利用した主体的な学びの実践報告——山月  
記、人虎伝の比べ読み

帯広北高等学校 戸川 貴之

- 中島敦「山月記」の新たな読み——生徒の問いが深い読みを生  
み出す授業実践

北海道帯広柏葉高等学校 田口 耕平

- 「元年とは何ぞ」——中国の古典解釈学

釧路校 吉田 勉

- 平仮名における定説の発生と展開——近代以降に着目して

釧路校 久田 行雄